

(1) 県を挙げた「総合戦略」の取組み

地方創生“拳県一致”協議会（H27.1.30発足）

「産学官・金労言」の各界代表者からなる
「地方創生の実現」に向けた取組みの推進母体（委員39名）

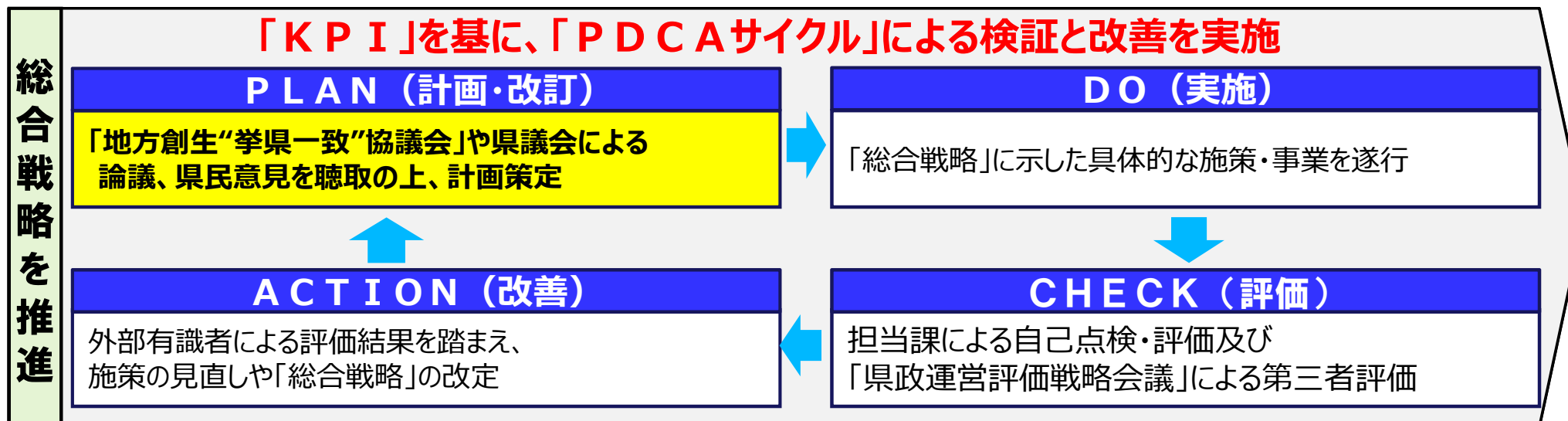
【主な役割】

- 「地方版総合戦略」の推進
- 「『住んでみんなで徳島で！』県民会議」の行動
- 国へのタイムリーな政策提言 等



働き方改革の一環として、
「ペーパーレス会議」にて実施！

(2) 検証と改善



2 現行の「vs東京『とくしま回帰』総合戦略（R2～R6）」の概要

◆ 4つの基本目標

【基本目標1】

「未来を担うひとの流れ」づくり

目 標

- 転入・転出者数：2030年均衡へ
 - (ア) 「住みたい・つながりたい」を実現！「とくしま回帰」の推進
 - (イ) 次代の地方創生を担う人材の育成
 - (ウ) 「とくしま回帰」を呼び込む拠点の更なる確保

【基本目標2】

地域を支える「魅力的なしごと」づくり

目 標

- 雇用創出数：5年間で5,000人
 - (ア) 未来につながる「地域産業」の実装
 - (イ) 世界に誇る「とくしまブランド」の強力展開
 - (ウ) 好機をとらえた観光誘客の更なる推進
 - (エ) 未来を切り拓く「ひと」づくり

【基本目標3】

結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり

目 標

- 希望出生率：1.8（2025年）
 - (ア) 多様な希望をかなえる「きめ細やか」で「切れ目のない」支援
 - (イ) 多様な希望に寄り添った「子育て環境」の実現
 - (ウ) きめ細やかに手をさしのべる社会の実現

【基本目標4】

安全・安心「持続可能な社会」づくり

目 標

- Society5.0の実装に向けた取組件数：5年間で25事例
 - (ア) DXの推進・「Society5.0」の実装
 - (イ) GXの推進・「SDGs徳島モデル」の実装
 - (ウ) 全世代・全員活躍「ダイバーシティとくしま」の実現
 - (エ) 安全・安心を実感！「皆が笑顔で暮らせる」社会づくり
 - (オ) 地方創生の礎「強靱とくしま」の実現

好循環

「PDCAサイクル」による検証と改善

情勢の推移を踏まえ、追加・拡充

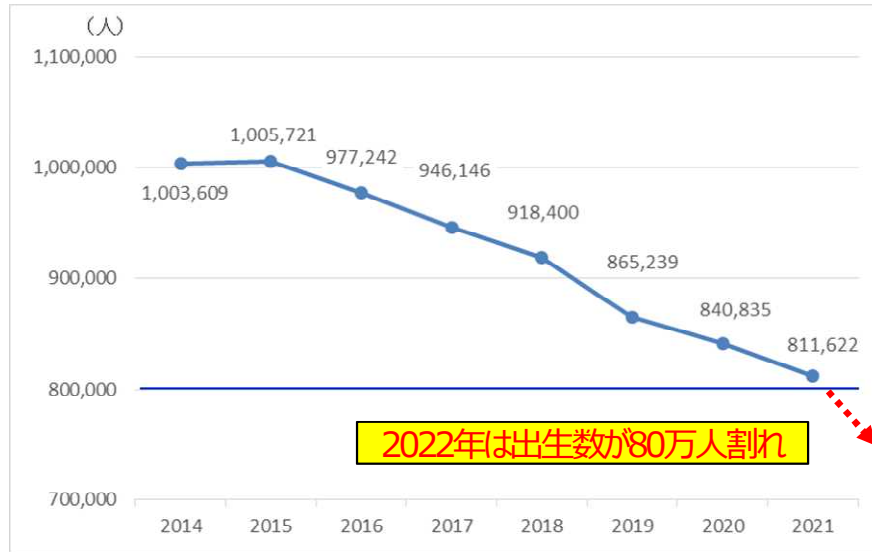
“進化する”総合戦略

全世代の人々が輝く「持続可能な社会」の実現

3 「新たな総合戦略（R5～R9）」策定の背景

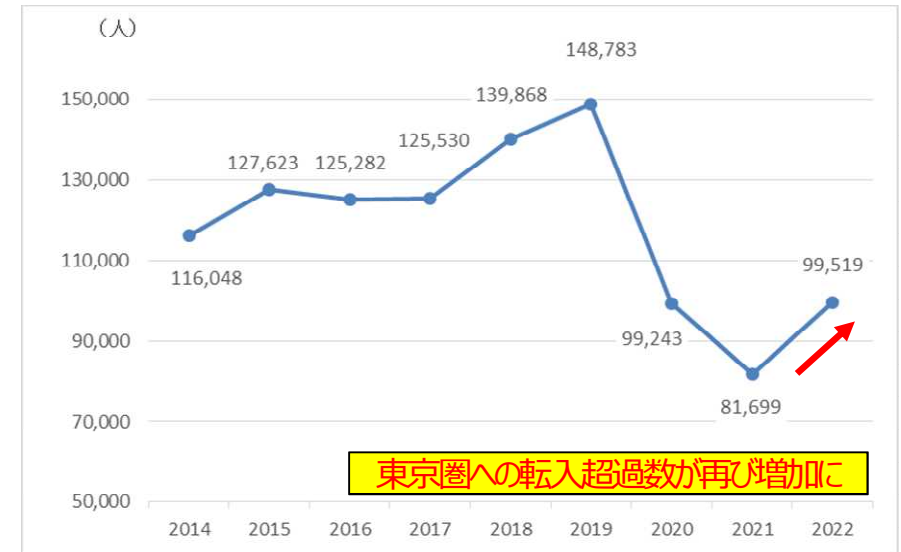
(1) 直近の「地方創生の動向」

日本の「出生数」の推移（2014～2021年）



「人口動態統計」（厚生労働省）をもとに作成

東京圏の「転入超過数」の推移（2014～2022年）



「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）をもとに作成

⇒ 「人口減少」のほか、「新興感染症」、「自然災害」、「原油価格・物価高騰」が、県民の皆様に「不安や停滞感」を与えている。

(2) 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（R5～R9）

- 国は、令和4年12月23日、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略（R2～R6）」を抜本的に改訂し、令和5年度を初年度とする5か年の新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定。
- デジタルの力を活用して、地域の個性を生かしながら、地方創生の取組を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが快適に暮らせる社会」を目指す。